

<色別表示の見方>

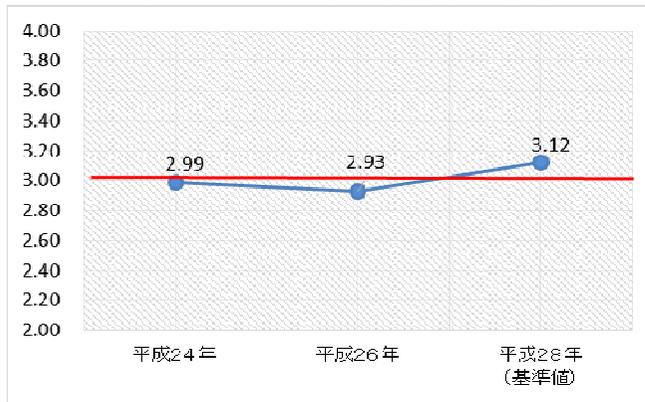
■:目標達成(網掛け)

□:目標未達成

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
1	111	文化・芸術	貸し館系施設の利用件数	件/年	8,705 [H22]	9,500	10,822	達成	文化への関心の高まりとともに、余暇利用などを目的とした貸館利用のニーズも年々増えており、目標を達成することができた。	既存施設の特徴を考慮し、連携と役割分担による効率的な運用と適切な維持管理を図ります。
2			観覧系施設の延べ入館者数	人/年	38,844 [H22]	40,000	38,975	未達成	展覧会等企画の充実に取り組んだ結果、入館者数の増加の兆しが見えたものの、目標値を達成することができなかった。	利用者の増加に向け、魅力ある展示や、講座などの開催を推進します。
3			少年考古学教室参加者数	人/年	67 [H22]	80	183	達成	多くの子どもの参加が期待できる教室を目指し、平成27年度からは、実際に子ども達が体験できる「勾玉づくり」、「土器接合体験」等の教室を行い、また、平成28年度からは、保護者も参加できるようにした。その結果、参加者は大幅に増加し、目標値を達成することができた。	市民の文化財、歴史に対する関心を高めるため、小中学校への出土品の貸出しや各種講座の開催など、文化財に触れる機会の拡充を図ります。

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：文化芸術

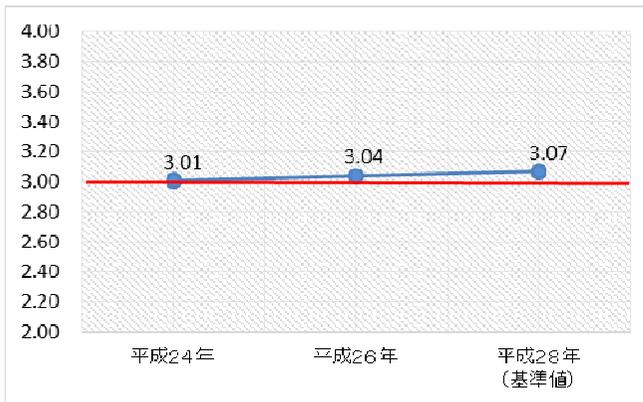
- 文化振興のあり方検討
- 既存施設の充実と有効活用
- 市民の文化・芸術活動の促進  
収蔵美術品の調査・検討
- 佐久の先人(業績・影響などを残した人物)の調査検討と成果の活用
- 文化財の保護・継承と有効活用

アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.17
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
満足度指数は、平成28年には0.19上昇した。これは文化振興基金活用事業等の効果によるものと考えられる。今後も文化振興基金活用事業を充実させることにより満足度の上昇を目指す。目標値は、年+0.01を見込み3.17とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化に対する市民の意識調査を実施し、文化振興計画の改定に向けた検討を進めます。</li> <li>・佐久市文化振興基金を運用益を活用し、演劇や音楽、舞踊など優れた舞台芸術に触れる機会を提供し、施設の利用を促進します。</li> <li>・「佐久の先人」の業績を広く市民に周知します。</li> <li>・無形文化財の後継者の育成など、保存会などへの支援を図ります。</li> </ul>	

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
4	112	地域間交流・国際交流	国際交流フェスティバル延べ参加者数	人/年	2,800 [H22]	3,500	3,000	未達成	ポスターやチラシにQRコードを入れるなど周知方法を工夫するとともに、会場周辺の駐車場の確保も行ったことにより、来場者数は現状値より増加したが、目標値を達成することはできなかった。	国際交流フェスティバルなどのイベントを開催し、相互理解を促進します。
5			国際交流サロン延べ参加者数	人/年	319 [H22]	400	329	未達成	佐久市国際交流ボランティアネットワーク合同会議を主体に、ボランティア団体とも協力し、開催回数を増やしたことにより、参加者数は現状値より増加したが、目標値を達成することはできなかった。	
6			空き家バンク掲載物件の契約成立件数	件/年	39 [H22]	50	70	達成	事業提携している宅建協会も独自に移住セミナーを開催したり、市単独のセミナーに建築士会も参加するなど、協力体制が強化されたことや、移住交流相談員の2名体制で、土日の対応を行ったことにより、実績値は順調に増加し、目標値を達成することができた。	定住人口の増加のため、空き家バンク事業の充実を図り、希望者のニーズに合った定住促進に努めます。

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：地域間交流・国際交流

- 交流人口の創出
- 国際性豊かな人材育成
- 在住する外国人が暮らしやすいまちづくり

アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.10
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、平均値付近ではあるが上昇傾向にある。今後も交流人口・定住人口の創出に取り組むとともに、在住する外国人にとっても暮らしやすいまちづくりに向けた施策を展開していくことにより、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、5年間で0.03ポイントの継続した上昇を見込み3.10とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交流人口創出基本計画を見直し、佐久の魅力や交流情報を集約し、県内外に向けた積極的な情報発信を推進します。</li> <li>・ 国内外の姉妹都市、友好都市、ゆかりのまちや交流都市との交流を推進します。</li> <li>・ 国際感覚を身につけた人材の育成のため、中学生海外研修事業の充実を努めます。</li> <li>・ 在住する外国人に対する相談窓口の強化や生活情報の提供を充実し、暮らしやすい環境づくりを推進します。</li> </ul>	

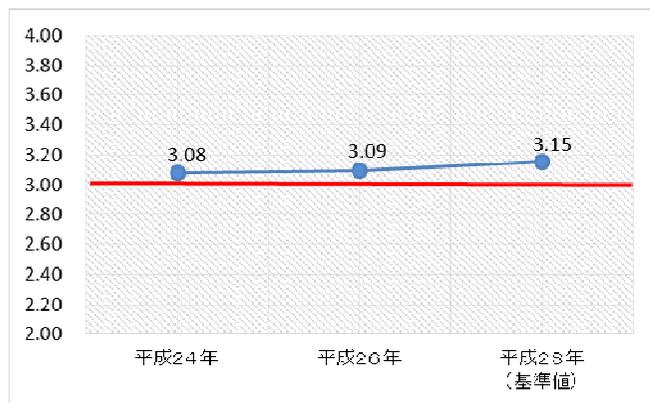
# 第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
7	113	人権尊重社会	人権教育・啓発事業などの延べ参加者数	人/年	8,105 [H22]	8,500	9,718	達成	身近な人権について考える機会とする学習会の開催について、区や学校・保育園等へ積極的に呼びかけを行ったことにより、参加者数が増加し、目標値を達成することができた。	・市民一人ひとりの人権意識の高揚を図るため、人権同和教育講座、人権・男女共生フェスティバルなど、あらゆる場での啓発を推進します。 ・幼児期から継続した人権同和教育を推進するため、幼稚園、保育所、小中学校の保護者や保育者、教職員を対象とした研修会や講座の開催を推進します。
8			隣保館活動などの延べ参加者数	人/年	5,227 [H22]	5,300	5,577	達成	市広報誌「サクライフ」や市ホームページ、新聞等の無料掲載欄による周知、学習会でのチラシ配布など広く市民に情報提供を行ったことにより、目標値を達成することができた。	関係機関と連携を図り、家庭、地域、職場における人権同和教育講座、学習会を開催します。

施策名：人権尊重社会

- 人権意識の高揚
- 人権教育の推進

市民アンケート満足度指数の推移



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.20
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、上昇傾向にあり、人権意識の高揚への取組や人権教育の推進による効果と考えられる。 過去4年間で0.07上昇していることから、今後も人権同和教育・啓発活動事業などの取組を実施することにより、5年間で0.05の上昇を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権を尊重する明るいまちづくりを推進するため、「第三次佐久市部落差別撤廃と人権擁護に関する総合計画」に基づき、市民、学校、行政などが一体となり、各種施策を総合的かつ計画的に推進します。</li> <li>・インターネットを悪用した人権侵害をなくすため、研修会などを通して利用者のモラルの向上を促進します。</li> <li>・障がいや障がいのある人への正しい知識や理解を深めるための教育を推進します。</li> <li>・人権教育の指導に当たる人材の養成と、人権問題の相談体制の充実に努めます。</li> </ul>		

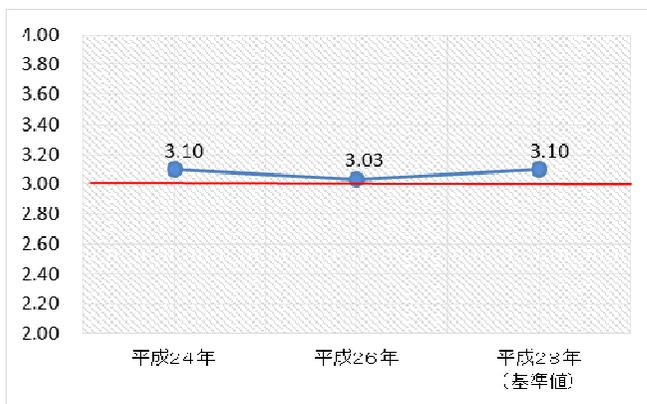
第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
9	114	男女共同参画社会	審議会などにおける女性委員の登用率	%	18.1 [H22]	25.0	23.3	未達成	審議会等所管課に女性委員の登用に努めるよう呼びかけたことにより、登用率は増加したものの、目標を達成することはできなかった。	各分野における方針決定過程への女性の参画を拡大するため、各種審議会、委員会などへの女性の登用を推進します。

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：男女共同参画社会

- 男女共同参画意識づくり
- 男女が共に健やかに暮らし、安心して働ける環境づくり
- 男女共同参画の視点による人権の尊重と暴力のない社会づくり



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.15
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、ほぼ横ばい傾向にある。</p> <p>本年度策定する男女共同参画プランに基づき各種施策を展開することにより、満足度指数の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、5年間で0.05ポイントの上昇を見込み3.15とする。</p>	<p>・男女共同参画社会の実現に向け、「第3次佐久市男女共同参画プラン」に基づき、各種施策を総合的かつ計画的に推進します。</p> <p>・市内の各種団体が構成されている「佐久市男女共生ネットワーク」を支援するとともに、女性団体の設置支援や団体間の交流機会を拡充します。</p> <p>・働きたい人が性別に関わりなくその能力を十分に発揮できる社会づくりを推進するため、子ども・子育て支援の充実、育児休業の取得促進、多様な働き方の普及などにより、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進に努めます。</p> <p>・男女共同参画の視点に立ち、貧困、高齢、障がいなどにより困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備に努めます。</p>	

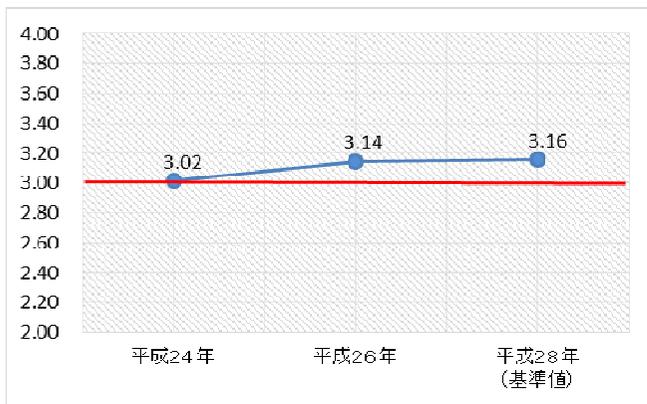
第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
10			小学校不登校児童の割合	%	0.36 [H22]	0.32	0.61	未達成	不登校児童の減少のためスクールメンタルアドバイザーによる支援等に取り組んだが、家庭環境がより複雑になり、特に低学年において昼夜逆転等で生活リズムが乱れている児童が増加していることなどから、目標を達成することはできなかった。  スクールメンタルアドバイザーによる支援や、各校内中間教室または市で設置している校外中間教室(チャレンジ教室)の活用、県のスクールカウンセラーなど関係機関との連携により、生徒一人ひとりに寄り添ったきめ細やかな対応ができたことにより、目標を達成することができた。	いじめや不登校などについて気軽に相談できる体制整備を図るとともに、中間教室などによる指導体制の強化に努めます。
11	122	学校教育	中学校不登校生徒の割合	%	3.24 [H22]	2.74	2.07	達成		

施策名：学校教育

- 学校教育施設の充実
- 教育内容の充実
- 特別支援教育、不登校対策の推進
- 学校給食の充実
- 児童生徒の保健管理と安全対策の推進

市民アンケート満足度指数の推移



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.18
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、平成26年に大きく上昇し、その後も上昇している。今後は、佐久市教育振興基本計画に掲げる学校教育の「目指す姿」の具現のために必要な施策を行い、満足度の上昇を目指す。目標値は、現在の水準を維持したうえで、5年間で+0.02を見込み3.18とする。</p> <p>・岩村田小学校の改築と白田地区新小学校の建設を推進します。                  ・自立して社会を生き抜く力を育むため、「佐久市教育振興基本計画」に基づき各種施策を推進します。                  ・学力の向上のため、学習指導方法の充実を図るとともに、学校と家庭が連携し、児童生徒が主体的に進められる家庭学習を促進します。                  ・そこに暮らす人とのふれあいを通し、地域に根差した特色ある郷土教育の取組を推進します。                  ・地域と学校が連携した子どもを育てる取組のさらなる充実のため、コミュニティスクールの体制づくりを推進します。                  ・全ての児童生徒が給食を楽しみと思えるよう、献立や調理の工夫を図ります。                  ・通学路などの安全点検を行い、地域や関係機関との連携を図りながら、危険箇所の改善に向けた取組を進めます。</p>		

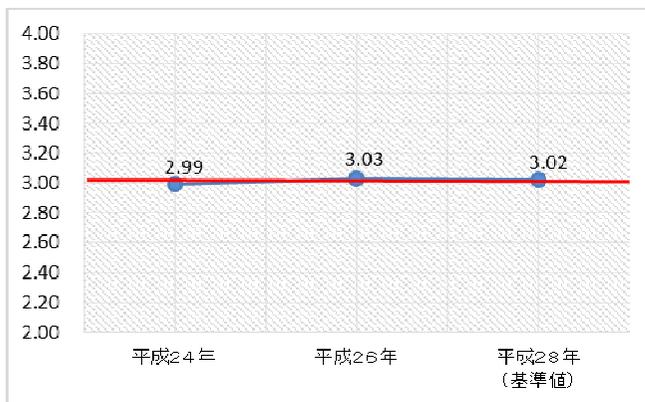
# 第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
12	123	高校教育・高等教育	奨学金制度利用者数	人/年	32 [H22]	40	100	達成	奨学金制度についてホームページへの掲載や高等学校を訪問し説明を行ったことにより、奨学金利用者数が増加し目標を達成することができた。	地域産業を担う人材の育成のため、佐久市奨学金貸与制度において償還金の一部免除を実施します。

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：高校教育・高等教育

- 高校教育の充実
- 優秀な人材の育成



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.03
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、ほぼ平均値で横ばい傾向にある。</p> <p>今後は、佐久市奨学金制度において平成29年より償還金の一部免除を実施する等、施策の充実により満足度の維持を目指す。</p> <p>目標値は微増の3.03とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小中学校と高校の連携強化のため、交流事業や体験活動などを推進します。</li> <li>・ 県立高校の再編に向けた動向を注視するとともに、高校教育を受けられる機会の拡充を促進します。</li> <li>・ 各種高等教育機関の充実や誘致に努め、多様な専門教育を受けられる機会の拡充を図ります。</li> <li>・ 各種高等教育機関との連携により、地域産業の活性化と、その担い手となる人材の育成を図ります。</li> </ul>	

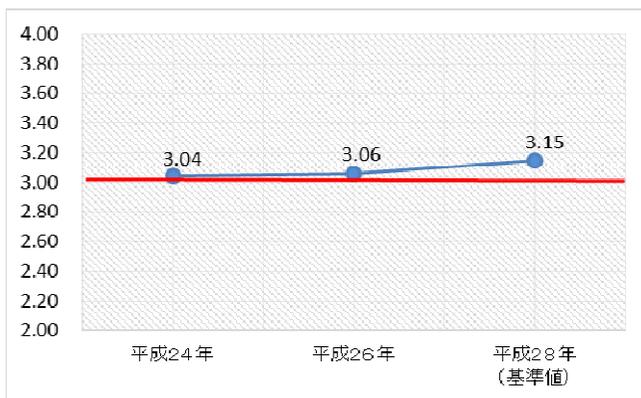
第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
13	124	青少年の健全育成	各地区の育成活動への延べ参加者数	人/年	183,139 [H22]	184,000	172,019	未達成	地域ぐるみの青少年健全育成事業を実施している地区育成会に、地域体験活動補助金を交付するなど、活動を支援したが、年々児童数が減少しており、子どもの育成会活動への参加延べ人数は減少傾向となっており、目標を達成することができなかった。	・地域の特性を生かした地区育成会活動を促進するとともに、各種イベントの周知を図ります。 ・子どもの数が減少する中、近隣地区との共同開催による活動の実施を促すなど、開催方法を工夫し活動の充実を促進します。

施策名：青少年の健全育成

- 地域ぐるみの青少年育成
- 青少年研修事業の推進
- 交流・学習拠点施設の充実

市民アンケート満足度指数の推移

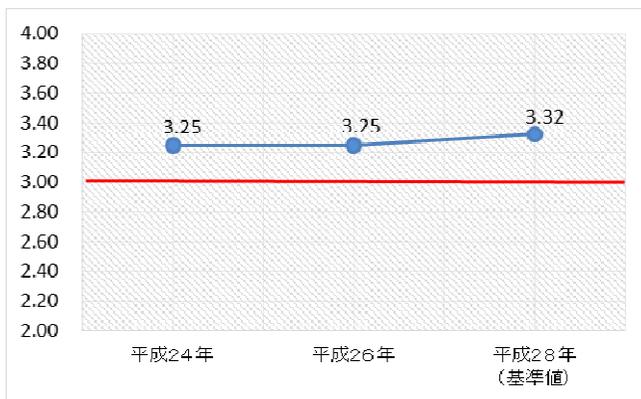


アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.20
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、上昇傾向にある。これは、地区育成会活動への支援により青少年育成活動件数の増加や、補導委員による街頭報道活動、子どもが多様な体験ができる研修事業等を実施したことによるものと考えられる。</p> <p>今後は、少子化が進む中で、次代を担う人材を育成することがより一層重要となることから、地区育成会活動、補導活動、体験活動や海外研修等の事業を引き続き実施し、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、過去の上昇傾向を維持するため年+0.01を見込み3.20とする。</p>		
<p>・社会の中で自立した人材を育成するため、家庭、学校、地域、関係団体などとの連携を図るとともに、青少年健全育成市民集会などのイベント内容の充実と周知に努めます。</p> <p>・非行の未然防止と早期発見のため、街頭補導活動や少年相談、青少年に有害な地域環境の実態調査を実施するとともに、市内各店舗に青少年健全育成協力店の登録を促進します。</p> <p>・多くの青少年に異文化体験、自然体験、社会体験などの多彩な体験ができる研修事業に参加してもらえるよう、研修内容の充実を図るとともに、研修事業の魅力を発信します。</p>		

# 第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
14	131	生涯学習	生涯学習市民のつどいなどのイベント延べ参加者数	人/年	31,394 [H22]	32,000	25,189	未達成	広報やホームページ、チラシ等により周知を図っているが、イベントについては講演の内容や、当日の天候などの影響があり、目標を達成することができなかった。	市民の生涯学習活動を促進するため、より効率的な生涯学習関連情報の発信に努めます。
15			公民館事業別延べ参加者数	人/年	37,106 [H22]	38,000	31,086	未達成	市民ニーズに即した講座を開催し、参加者数を増加させるため、毎年、講座の参加者へアンケートを実施し新規講座にも取り組んだが、参加者が固定化しており、新たに公民館事業に参加する方が伸び悩んだことから、目標値を達成することができなかった。	市民ニーズの把握に努め、多彩な講座を開催するとともに、男性や若年層も参加しやすい新規講座の開催を検討します。
16			図書などの貸出し冊数	冊/年	531,901 [H22]	600,000	554,531	未達成	平成26年7月の読書通帳の導入による市民の継続した読書活動の促進を行うとともに、平成27年11月からはインターネット予約も開始し、本を借りやすい環境づくりに努め貸出冊数は増加したが、目標を達成することができなかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様化する市民ニーズに対応した図書資料やサービスの充実に努めます。</li> <li>移動図書館車の更新や市民ニーズを反映した巡回地域の見直しを進めます。</li> </ul>

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：生涯学習

- 生涯学習活動の活発化
- 生涯学習環境の充実
- 図書館サービスの充実

アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.32
<p>満足度指数は、上昇傾向にあり、高い値となっている。これは、団塊の世代の退職に伴う生涯学習への関心の高まりに対し、様々な講座等の充実を図ったことによると考えられる。</p> <p>今後も市民のニーズに合った各種講座の開催や、生涯学習環境の整備に努めることにより、平成28年度の3.32という高い満足度の維持を目指す。</p>		
<p>第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域での学習活動を指導するリーダーの確保と育成を推進します。</li> <li>・グループの活動や生涯学習リーダーバンクの情報を市広報紙や市ホームページなどにより提供するとともに、コーディネート機能の充実に努めます。</li> <li>・生涯学習施設の計画的な整備と機能の充実に努めます。</li> <li>・市立図書館の計画的な整備と機能の充実に努めます。</li> </ul>		

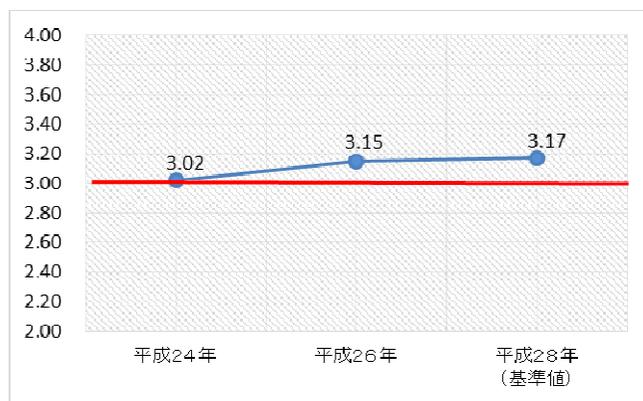
第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
17	132	スポーツ	スポーツ教室延べ参加者数	人/年	4,225 [H22]	5,000	5,217	達成	教室内容の改善や周知に力を入れたほか、教室数を増やしたことにより、目標を達成することができた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツに親しむ環境づくりを推進するため、市民のニーズに応じたスポーツ大会や教室の充実を図ります。</li> <li>・佐久市体育協会やスポーツ推進委員と連携し、誰でも気軽にできる運動・スポーツの普及に努めます。</li> </ul>
18			スポーツ大会延べ参加者数	人/年	15,912 [H22]	17,500	14,148	未達成	大会要項の見直し等の取組により、より参加しやすい大会運営を進めてきたが、目標を達成することができなかった。要因として、児童生徒の減少による子ども向け大会の参加者減が考えられる。	
19			体育施設延べ利用者数	人/年	631,300 [H22]	700,000	783,627	達成	佐久総合運動公園の認知度も上がり、施設の計画的改修などの利用者ニーズに則した改善が増加に繋がり、目標を上回ることができた。	

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：スポーツ

- 生涯スポーツ参加機会の充実
- 競技スポーツの振興
- 体育施設の充実



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.30
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、平成26年に大きく上昇し、その後も上昇している。今後も生涯・競技スポーツの振興などに努めるとともに、東京オリンピック・パラリンピック開催による交流の推進などにより、目標値の上昇を目指す。目標値は、5年間で0.13ポイントの上昇を見込み3.30とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の健康づくり推進のため、週1回以上の運動・スポーツ実施率の向上を促進します。</li> <li>・身近で気軽にスポーツが行えるよう、地域のスポーツ活動を促進するとともに、佐久市体育協会、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団の育成を支援します。</li> <li>・全国大会などで活躍が期待できる競技者の育成や競技力の向上を目指し、佐久市体育協会や競技団体と連携して、優れた指導者の養成・確保を図ります。</li> <li>・東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致を推進します。</li> <li>・老朽化した施設・設備の計画的な整備や機能の充実を図ります。</li> </ul>		

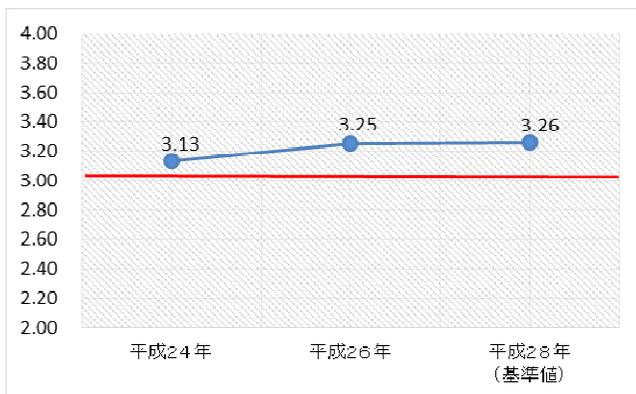
## 第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
65	611 防災	防災	自主防災組織設置区数	区	230 [H22]	239	235	未達成	地域の防災意識の高まりにより、多くの自治会で組織形成されたが、様々な地域事情（高齢化や区民の転出入が多く組織形成が難しいこと、また区に定住者が少ないことなど）により組織形成をしない区もあり、目標を達成することはできなかった。	自主防災組織の育成による地域ぐるみの防災体制の確立を促進します。
66			地域自主防災訓練実施区数	区	143 [H22]	239	158	未達成	訓練実施区数は増加したが、実施区が固定化されるなど、大幅な増加とならず、目標を達成することはできなかった。	実践的な総合防災訓練や、ひとり暮らし高齢者の対応など地域の実情に応じた自主防災組織による防災訓練の実施を推進します。

施策名：防災

- 防災体制の強化
- 防災対策の推進
- 市民の防災意識の高揚
- 武力攻撃事態等における国民保護体制の整備

市民アンケート満足度指数の推移



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.36
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、上昇傾向にある。今後も出前講座や自主防災組織の訓練への参加等を行い、防災体制の強化や、市民の防災意識の高揚を促進することにより、満足度の上昇を目指す。目標値は年+0.02を見込み3.36とする。</p> <p>・あらゆる災害に対応できるようにするため、地域防災計画の点検と見直しを行い、防災体制・防災対策の強化を推進します。          ・災害時の協力体制の強化のため、国・県・他市町村・民間との連携や友好都市などとの相互応援体制の構築を推進します。          ・正確な情報伝達に活用するため、防災行政無線など各種防災情報システムの充実を図ります。          ・浅間山火山防災協議会における関係機関との連携、浅間山火山防災マップの活用などにより、浅間山火山災害における防災体制の強化を図ります。          ・災害時に対応するための資機材の整備、食料品などの備蓄を推進します。          ・国民保護措置を的確かつ迅速に実施するため、全国瞬時警報システム(Jアラート)による情報提供と事後の救援体制の充実を図ります。</p>		

## 第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
67	612	消防・救急	消防団協力事業所数	事業所	57 [H22]	100	116	達成	消防団協力事業所に対する県税及び市の入札優遇制度の効果や、災害時における消防団活動の重要性が多く事業所に理解されたことにより、目標を達成することができた。	消防団員がより活動できる環境を整備するため、消防団協力事業所制度を推進するとともに、消防団応援事業所制度により消防団員を支援します。
68			火災発生件数	件/年	61 [H22]	25	58	未達成	火災予防のビラ配布や、火災予防週間における気象乾燥時の野焼注意の広報等を行い防火意識の高揚を図ったが、火災発生件数の減少に至らず、目標を達成することができなかった。	火災予防のため、啓発活動を推進するとともに、住宅用火災警報器の設置を促進します。

### 市民アンケート満足度指数の推移



施策名：消防・救急

- 広域消防・救急体制の強化
- 地域消防体制の充実
- 市民・民間の防火体制充実

アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.53
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、非常に高い値で平成28年にはさらに上昇している。これは、佐久消防署、北部消防署の建設及び高機能司令センターの稼働により、広域消防体制の強化が図られたことによると考えられる。</p> <p>今後も計画的に消防団の装備などを充実させるとともに、火災予防のための防火訓練や広報活動により、市民の防火意識の高揚を図ることで、高い満足度の維持を目指す。</p> <p>目標値は、微増を見込み3.53とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 火災予防や被害軽減のため、消防車両や消防資機材の充実を図ります。</li> <li>・ 救命率向上のため、救急隊員や救急救命士の育成、医療機関との連携を促進します。</li> <li>・ 救命率向上のため、AEDの効果的な配備、設置場所の周知や使用方法を含めた救急法の講習会を実施します。</li> <li>・ 地域の実情に応じた消防団の組織体制の構築を図ります。</li> <li>・ 組織の充実や消防団活動の強化のため、機能別団員制度の活用により、女性消防団員を含めた幅広い層からの消防団員の加入を促進します。</li> <li>・ 防火訓練や広報活動の実施により、市民や事業所の防火意識の高揚を図ります。</li> </ul>	

## 第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
69	613	交通安全	交通安全大会、各種講習会などの延べ参加者数	人/年	10,442 [H22]	16,000	10,096	未達成	市内幼稚園、保育園、小中学校及び各地区老人クラブに安全教室開催の要請を行っているが、開催団体は例年同じ団体が多く、参加者数はほぼ横ばいのため、目標を達成することができなかった。	高齢者対象のナイトスクールや老人クラブと連携した交通安全教室の開催、高齢者宅への家庭訪問などにより、交通安全意識の啓発に努めます。

施策名：交通安全

- 交通安全環境の整備
- 交通安全意識の高揚
- 交通事故に関する相談・救済対策の充実

市民アンケート満足度指数の推移



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)
<p>満足度指数は、平成26年に下降が見られたがほぼ横ばい傾向にある。今後は、高齢化社会が進行する中で、引き続き高齢者交通安全教室等を重点とした交通安全対策を推進し、より安全な交通環境を確立することにより、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、平成26年からの上昇傾向の継続を見込み3.20とする。</p>	<b>3.20</b>
<p>第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通指導員の交通安全指導力の向上を図るとともに、幼稚園、保育所、小学校、中学校における交通安全教室の継続的な開催を推進します。</li> <li>・通学路を始めとする歩道の整備など、道路の改築事業の推進に努め、子どもや高齢者にやさしい安全で快適な歩行者空間の確保を図ります。</li> <li>・交通事故の多発箇所を点検するとともに、交通安全施設への区要望などを踏まえ、事故防止に効果的な交通安全施設の設置を推進します。</li> <li>・長野県交通事故相談所などの関係機関との連携を図り、相談者が気軽に相談できる体制づくりに努めます。</li> </ul>	

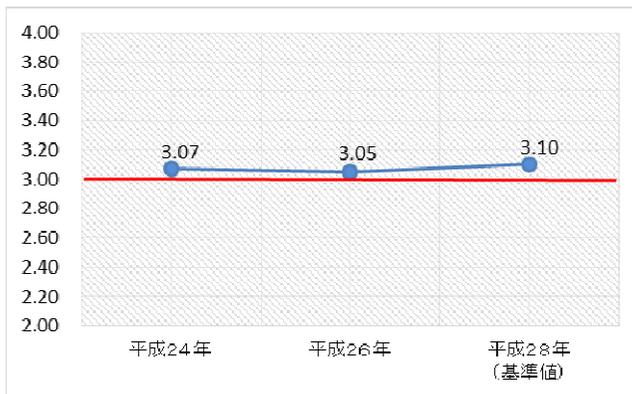
## 第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
70	614	防犯	犯罪発生件数	件/年	1,079 [H22] (852)	835 (660)	617 (481)	達成	区からの要望に基づく防犯灯の新設や、既設の蛍光灯による防犯灯を、順次、照度の高いLED灯に交換し、夜間でも明るい屋外環境を確保してきたことにより、犯罪発生件数は減少し、目標を達成することができた。しかし、振り込め詐欺等の特殊詐欺事件は、数多く発生し、後を絶たない状況である。 (現状値、目標値は佐久警察署管内値であり、実績値は佐久市内値である。H22の佐久市内現状値は852件であることから、目標値を案分すると660件となる。)	犯罪を未然に防止するため、佐久警察署、佐久ケーブルテレビ、エフエム佐久平などと連携した広報活動などにより、防犯意識の高揚を図ります。

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：防犯

- 防犯体制・防犯活動の強化
- 防犯施設の整備



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.13
<p>満足度指数は、平均値より高くほぼ横ばい傾向にある。これは、刑法犯認知件数が減少傾向にあり、今までの取組に一定の効果があったことによると考えられる。</p> <p>しかし、近年は特殊詐欺に対する取組が特に重要になっており、現在、特殊詐欺撲滅強化運動期間を設け様々な取組を展開している。そのような取組も含め今後も関係機関と連携し施策の展開を図ることで満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、平成24年から平成28年まで0.03上昇していることから、5年間で+0.03を見込み3.13とする。</p>	<p>第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを犯罪から守るため、学校教育を通じた防犯意識の普及・啓発を図ります。</li> <li>・特殊詐欺による被害を未然に防止するため、警察と連携し、高齢者を対象とした被害防止講習会を開催するとともに、広報活動を実施します。</li> <li>・地域住民や関係機関、防犯組織との連携、子どもを守る安心の家の設置、防犯パトロールなどにより、家族ぐるみ・地域ぐるみの防犯活動を促進します</li> <li>・夜間における犯罪の防止のため、区要望による防犯灯の整備を推進します。</li> </ul>	

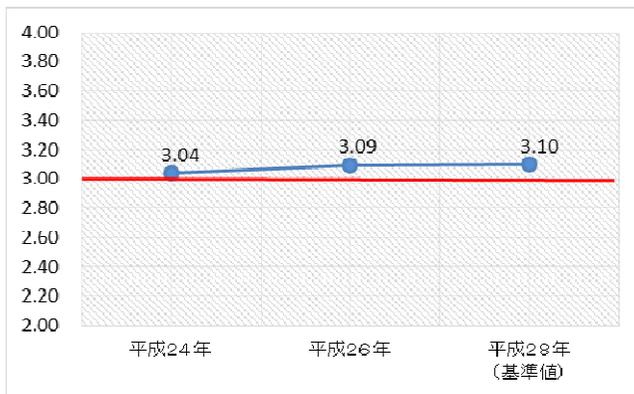
## 第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
71	615	消費生活	消費生活展、街頭啓発、講習会などの実施回数	回/年	35 [H22]	60	33	未達成	老人クラブ対象の被害防止教室の開催の要請をしたが、全クラブ中開催は約半数に留まっている。開催クラブが固定化され、新たに開催するクラブが増えていないことなどから、目標を達成できなかった。	消費者が、消費生活の改善について、自ら考え、主体的に行動することにより、賢い消費生活を送れるように、広報・啓発活動を推進します。

施策名：消費生活

- 消費者保護対策（悪質商法契約など各種トラブルへの対策等）の推進
- 消費者意識の高揚
- 消費生活の改善

市民アンケート満足度指数の推移

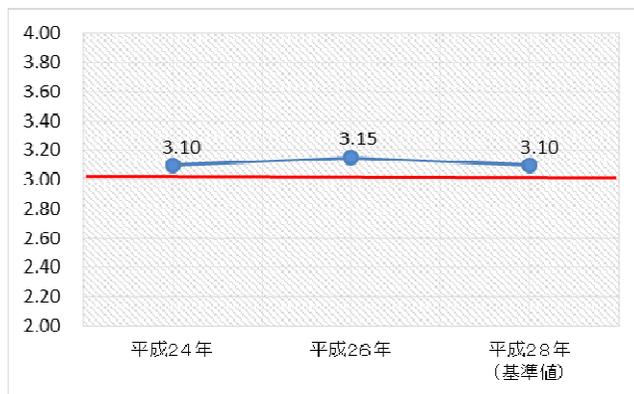


アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)
<p>満足度指数は、上昇傾向にある。今後も専門の相談員を配置した消費生活センターにおける的確な相談業務の推進を図るとともに、継続的な消費者被害防止等の広報啓発による意識の向上を図り、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、平成24年から28年までに0.06上昇していることから、年+0.01を見込み3.15とする。</p>	<p><b>3.15</b></p> <p>第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消費生活展、佐久ケーブルテレビ、エフエム佐久平、市広報紙などを活用した情報提供の充実を図ります。</li> <li>・消費者被害防止のための高齢者講習などにより、消費生活のトラブルに関する知識の普及、消費生活に関する意識の高揚を図ります。</li> <li>・架空請求詐欺や悪質商法契約などの消費者生活のトラブルについて、佐久市消費生活センターにおける的確な相談業務を推進します。</li> <li>・食品や消費生活用製品などに関して、関係機関と連携し、迅速かつ継続的な消費者情報の提供に努めます。</li> </ul>

## 第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
72	621	協働のまちづくり	佐久市市民活動サポートセンター登録団体数	団体	- [H22]	300	180	未達成	市民活動サポートセンターに関する情報の周知により、登録団体数は増加したが、近年は年間に登録される新たな団体は20団体程度となり、登録団体数は頭打ちになってきたため、目標値を達成することはできなかった。	佐久市市民活動サポートセンターを拠点とした市民活動ネットワークの拡大を図るとともに、若者世代の参加と活動の充実を促進します。
73			佐久市まちづくり活動支援金事業を活用する団体数	団体/年	- [H22]	10	22	達成	平成26年度に交付対象経費が20万円以上の高額補助枠と、20万円以下の少額補助枠を設け、市民が利用しやすいように見直しを行ったところ、活動団体が増加し目標を達成できた。	佐久市まちづくり活動支援金の活用を促進するとともに、市民活動団体が行うまちづくり活動を積極的に支援します。
74			各審議会など全体公募委員割合	%	3.2 [H22]	10.0	10.3	達成	市民参加型市政の推進により、市民の関心が高まっていることから、公募委員の割合は上昇しており、目標を達成することができた。	各種審議会の市民公募委員枠の拡大を図るとともに、審議会の日程や会議録などの情報提供を推進します

### 市民アンケート満足度指数の推移



施策名：協働のまちづくり

- 市民の市政参画機会の拡充
- 広報・広聴の充実
- 協働のまちづくりの推進
- 情報提供と個人情報保護

アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.15
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>市民満足度は、平均値より高いがほぼ横ばい傾向にある。          今後もより一層協働に関する情報発信に努め、市民とともに地域課題解決に取り組む協働・参加のまちづくりを進めることにより、目標値の上昇を目指す。          目標値は、平成26年水準までの回復を目指し3.15とする。</p> <p>市広報紙、市ホームページ、SNSなどを通じて、市民、市民活動団体、行政が情報を共有することで、市民と市がパートナーとして、連携・協力する市民協働のまちづくり、市民参加のまちづくりを推進します。          ・市民自らが参加し、意見を述べる機会を増やすことで、市民の市政参加を促進します。          ・市民への分かりやすく、きめ細かな情報提供を行うため、市広報紙や市ホームページの充実を図ります。          ・時代に即した幅広い情報発信を行うため、佐久ケーブルテレビ、エフエム佐久平と連携するとともに、ツイッター、フェイスブック、サイマルラジオなどを活用した広報活動を推進します。          ・佐久市情報公開条例に基づき、情報公開制度の適正な運用を図るとともに、社会ニーズに応じた制度の改善に努めます。</p>		

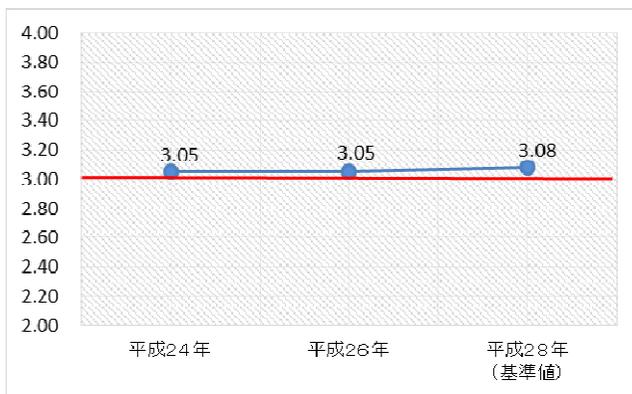
第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
75	622	コミュニティの育成	区への加入率	%	87.57 [H22]	90.00	84.00	未達成	区への加入率を増加させるため、転入者への加入案内の配布や区長に加入促進のための方法を記載した資料を配布するなどしたが、目標値を達成することができなかった。要因としては、都市化の進展や若年層のコミュニティ活動離れによる、共助の精神の希薄化等が考えられる。	地域コミュニティの基本である区の活動や適正規模、区の実情に合った区の体制づくりを支援します。

施策名：コミュニティの育成

- 地域自治組織の育成
- コミュニティ活動環境(情報交換の促進や施設整備)の充実
- 住民主体のまちづくりへの支援

市民アンケート満足度指数の推移

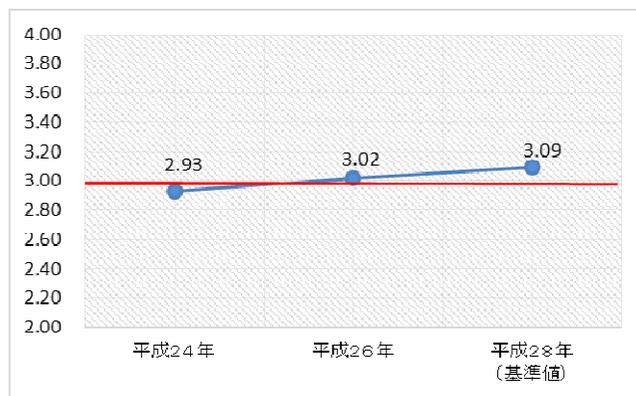


アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)
<p>満足度指数は、緩やかではあるが上昇傾向にある。</p> <p>今後は、人口減少や少子高齢化等により、地域のコミュニティ活動の低下が懸念される。また、都市化の進展とともに年々区の加入率も減少傾向にあり、共助の精神が希薄化する傾向にあることから、大幅な満足度の上昇は困難である。</p> <p>目標値は、施策の展開により維持を目指し、微増の3.10とする。</p>	<p><b>3.10</b></p> <p>第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎組織である区や、地域活動を行うボランティア団体・NPOなどの様々な団体と連携し、地域課題を解決するための取組を支援します。</li> <li>・コミュニティ活動の基盤となる公会場などの施設整備を支援します。</li> <li>・地域の伝統文化の継承、保存など住民が自主的に行うコミュニティ活動を促進し、地域の連帯感に基づく自治意識の高揚を図ります。</li> <li>・地域コミュニティの活性化を図るため、都市地域などから移り住み地域協力活動に従事する地域おこし協力隊の活動を充実を図ります。</li> </ul>

## 第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
76	623	公共施設	新規指定管理者制度導入施設数	施設/年	1 [H22]	1	1	達成	平成28年度は社会体育施設(44施設を一括で指定)について、指定管理者制度の導入を実施し、目標を達成できた。計画期間内においても年1施設以上の導入を行った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共施設の管理運営方法については、民間活力の導入を引き続き推進します。</li> <li>指定管理者制度について、広く民間のノウハウを活用するため、多くの事業者が参加できる方法や、インセンティブが働く仕組みづくりを検討します。</li> </ul>

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：公共施設

- 公共施設の管理方法
- 公共施設の適正な配置と整備
- 公共施設の耐震化

アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)
	<b>3.10</b>
<p>満足度指数は、上昇傾向にあるが、公共施設等総合管理計画の策定により、統廃合等が進められることから、今後は満足度は下降傾向が見込まれる。しかし、人口減少や財政状況の維持のための「公共施設の適正化」の理解を促し、市民と行政との意識の共有を進めることで、満足度の現状維持を目指す。</p> <p>上記より、目標値は基準値+0.01とし、若干ではあるが上昇するように取り組むこととする。</p>	<p>第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>佐久市公共施設等総合管理計画に基づき各施設の個別計画を策定し、施設の最適化を推進します。</li> <li>個別計画では、将来においても持続可能な公共施設規模の最適化に向け、適切な進捗管理を実施します。</li> <li>地域に必要とされる機能を勘案し、公共施設と民間施設の複合化など、公共施設の有効活用を検討します。</li> <li>公共施設の整備については、民間資金の活用を可能とするPFIを含むPPPを推進します。</li> <li>効果的、効率的な管理運営のため、アダプトシステムの活用や、包括的民間委託を始めとした未導入の取組について調査・研究を行います。</li> </ul>

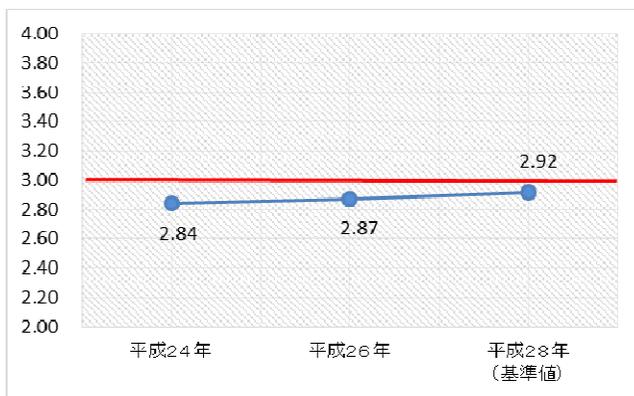
## 第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
77	624	行財政	市税収納率(現年課税分)	%	97.25 [H22]	100	98.5	未達成	専任徴収員による戸別訪問徴収の実施や換価性の高い債権(給与・預貯金等)の重点的な差押え等に取り組んだことにより、収納率は上昇傾向にあるが、目標を達成することはできなかった。	税負担の公平性と自主財源確保のため、課税客体的確な把握に努めるとともに、納税環境の整備を図り、納税者の納税意識の高揚と収納率のさらなる向上を図ります。

### 市民アンケート満足度指数の推移

施策名：行財政

- 効率的な行政運営
- 効率的な財政運営
- 適正な人事管理と職員能力発揮
- 入札及び契約の適正化



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.00
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、上昇傾向にあり、平成24年から0.08上昇している。これは、組織機構の見直しや、外部評価の実施などの取組によるものと考えられる。今後も計画的・効率的な行財政運営を行うとともに、市民に丁寧な説明を行うことにより、さらなる満足度の上昇を目指す。</p> <p>過去4年間では、年0.02の上昇であることから、5年間で平均である3.00を目指す。</p>	<p>・市民に必要とされる事業の継続と、まちの持続的発展につながる新たな事業の実施を両立できる行政経営基盤の確立を図ります。</p> <p>・時代の変化や市民ニーズに柔軟に対応するため、より効率的・機能的な組織機構の見直しと適正な職員配置に努めます。</p> <p>・行政評価システムの簡素化、重点化により、効果的・効率的な事業の検証と改善を図ります。</p> <p>・限られた財源の重点的・効率的な配分について、「選択と集中」に基づく中長期的な視点に立った計画的な財政経営に努めます。</p> <p>・経費の節減や事務の合理化により、財政構造の健全性・弾力性の確保に努めます。</p> <p>・事業の実施に当たっては、国・県補助などの特定財源や交付税措置のある有利な起債の活用を図ります。</p> <p>・多様化・複雑化する市民ニーズを的確に捉え、厳しい地域間競争を勝ち抜くための施策を展開できる職員の育成を図ります。</p> <p>・地元企業の育成や地域経済の活性化を図るため、「地元企業優先発注等に係る実施方針」に基づき、地元企業への優先発注や市内産品の優先活用を推進します。</p>	

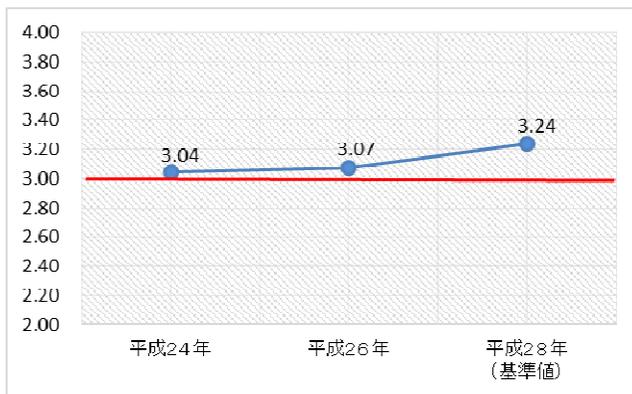
第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
78	625	広域連携	定住自立圏による事業実施数	事業	- [H22]	25	33	達成	<p>佐久地域定住自立圏による連携事業は、圏域住民の生活の利便性向上のため、「佐久地域定住自立圏共生ビジョン」に基づき実施しているが、構成市町村との調整により、多くの事業を同ビジョンに盛り込むことができたため、目標を達成できた。</p> <p>なお、平成29年度からスタートした第2次共生ビジョンでは、さらに34個の事業に取り組んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係市町村との連携・協力により、圏域全体の生活機能やネットワークの強化を図ります。</li> <li>佐久地域定住自立圏共生ビジョンに定める取組を検証することにより、人口減少などの社会情勢の変化に対し柔軟な対応を図ります。</li> </ul>

施策名：広域連携

- 広域行政の推進
- 定住自立圏構想の推進
- 広域行政の組織機能強化

市民アンケート満足度指数の推移



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.24
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、広域連合や一部事務組合による事務の共同処理に取り組むほか、佐久地域定住自立圏では主にソフト事業を中心に連携強化を図るなど市町村間連携を強力に進めたため、上昇基調で順調に推移したと考えられる。</p> <p>今後も人口減少社会の下で、市町村間の役割分担や連携がこれまで以上に重要となることから、引き続き他の市町村との協力・連携を進めることで、満足度の維持を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐久広域圏全体の人口減少に歯止めをかけるとともに、広域圏全体の社会・経済の活性化を図るため、広域圏における地域内での融和を進めるとともに、圏域市町村の適切な機能分担と連携により、住民の暮らしに根ざした施策展開を促進します。</li> <li>佐久広域連合広域計画に基づき、佐久広域の市町村が一体となって、活力ある地域づくりを促進します。</li> <li>社会情勢の変化に柔軟かつ迅速に対応するため、新たな広域的課題についての調査研究に努めます。</li> <li>多様化する広域行政ニーズに適切に対応できる組織体制の強化・充実に努めます。</li> </ul>	